

二戸地域就農ガイドブック

農業ってどうやってはじめるの？

# 就農への道しるべ

～岩手県二戸地域版～



農業を始めたいと  
思っているけれど・・・  
何から始めれば良いのか  
わからない・・・



農業を始める方に対し  
て、**市町村・JA・県**  
などが、様々な**支援**を  
行っています。



# 農業っていったいどんなもの？ 二戸地域の農業の特徴は？ どんな人が農業をはじめているの？

- \* 農業は天候に左右されることが多い職業です。一日中働く日があったり、時期によってはほとんど作業がなかったり。収入も他の職業と比較し、年によって大きく増減します。
- \* 一方で、やりかた次第では、自分で自由な時間を作り出したり、収入をさらに増やしたりすることができるなど、やりがいのある職業です。
- \* 二戸地域では、夏期冷涼で広大な高標高地や寒暖差の大きな盆地、耕地の約7割が畑地といった多種多様な地域特性を活かし、「園芸」や「酪農・肉用牛・ブローラー等の畜産」、「葉たばこ」等の経営が展開されています。



ハウストマト



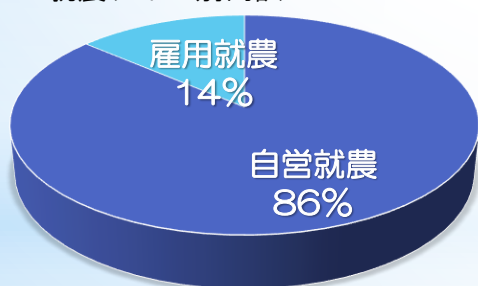
肉用牛



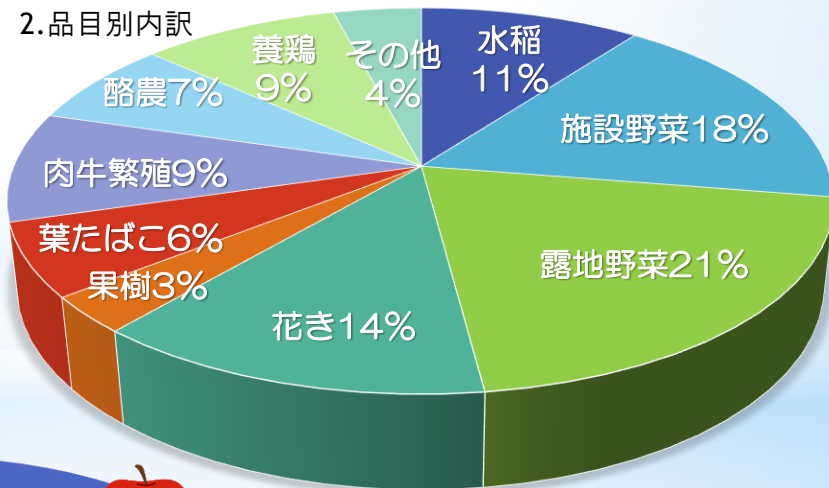
葉たばこ

## 過去5年間の二戸地域の各種新規就農者内訳（H25～29）

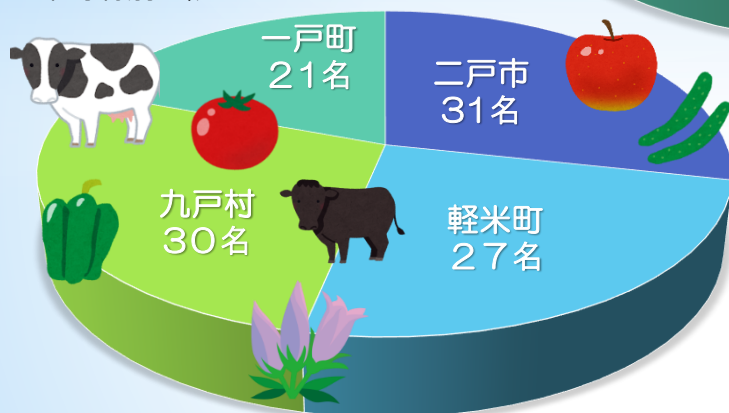
### 1. 就農タイプ別内訳



### 2. 品目別内訳



### 3. 市町村別内訳



露地きゅうり



# 管内で栽培されている主要品目について



## トマト栽培のポイント



- ★おすすめする経営規模 労働力が2人の場合：10a程度～  
※ベテラン農家は2人で20～25a ※1人でも繁忙期に雇用すれば20a程度は可能。
- ★他品目との組み合わせ例としては、九戸村ではトマトとねぎを組合わせた経営が多いです。

### 始めるにあたって必要な施設・機械等の初期費用（10a規模の場合）

☆ 岩手県生産技術体系2015  
から抜粋

|                                     |                 |
|-------------------------------------|-----------------|
| パイプハウス（2a）5棟                        | 約500万円（ハウス栽培のみ） |
| 機械類（トラクタ20馬力、ロータリ、動力噴霧機、管理機、マルチャー等） | 約360万円          |
| 軽トラック                               | 約 80万円          |



### 所得の目安（10aあたり）

☆ 地域の実情等から試算

|       | ハウス栽培  | 簡易<br>雨よけ栽培 | 備 考                                                          |
|-------|--------|-------------|--------------------------------------------------------------|
| 粗収益   | 約230万円 | 約160万円      | 収量：ハウス栽培 8,000kg/10a<br>簡易雨よけ栽培 5,500kg/10a<br>単価：293円/kg ※1 |
| 経費 ※2 | 約130万円 | 約 90万円      | 自家育苗の場合：種苗費、肥料・農薬費、資材費、流通経費等                                 |
| 所得    | 約100万円 | 約 70万円      |                                                              |
| 作業時間  | 915時間  | 616時間       |                                                              |

※1 販売単価は、年や時期により変動します。 ※2 施設・機械の減価償却費は除きます。



## 露地ピーマン栽培のポイント



- ★おすすめする経営規模 労働力が2人の場合：4～8a程度（ただし選果労力により変動）
- ★栽培に必要な資材が比較的少なく、新規に始めやすい品目です。果実も軽いです。
- ★定植後、根づくまでは手かん水が必要です。
- ★土壌の乾燥が続くと生育停滞や障害果が発生しやすいため、かん水ができるほ場のほうが、生育が安定し収量も高くなります。

### 始めるにあたって必要な施設・機械等の初期費用

☆ 岩手県生産技術体系2015  
から抜粋

|                                     |        |
|-------------------------------------|--------|
| 機械類（トラクタ30馬力、ロータリ、動力噴霧機、管理機、マルチャー等） | 約470万円 |
| 軽トラック                               | 約 80万円 |

※自家育苗する場合は、上記に加えてパイプハウスが必要です。



### 所得の目安（10aあたり）：1,587本/10a栽植の場合

☆ 地域の実情等から試算

|       |        | 備 考                          |
|-------|--------|------------------------------|
| 粗収益   | 約140万円 | 収量：5,500kg/10a 単価：264円/kg ※1 |
| 経費 ※2 | 約 50万円 | 種苗費、肥料・農薬費、資材費、流通経費等         |
| 所得    | 約 90万円 |                              |
| 作業時間  | 326時間  |                              |

※1 販売単価は、年や時期により変動します。

※2 施設・機械の減価償却費は除きます。購入苗を使用した場合で試算しています。



## 露地きゅうり栽培のポイント



- ★おすすめする経営規模 労働力が2人の場合：10a程度
- ★収量は、防除等の栽培管理・気象条件により変動します。
- ★収穫は、朝・夕の1日2回です。
- ★土壌の乾燥が続くと生育停滞や障害果が発生しやすいため、かん水できるほ場のほうが、生育が安定し収量も高くなります。
- ★農地を探す際の留意点：過去に葉たばこを作付けしたほ場でのきゅうり栽培は避けてください。

### 始めるにあたって必要な施設・機械等の初期費用

☆ 岩手県生産技術体系2015  
から抜粋

|                                     |        |
|-------------------------------------|--------|
| 機械類（トラクタ30馬力、ロータリ、管理機、マルチャー、動力噴霧機等） | 約470万円 |
| 軽トラック                               | 約 80万円 |

※自家育苗する場合は、上記に加えてパイプハウスが必要です。



### 所得の目安（10aあたり）

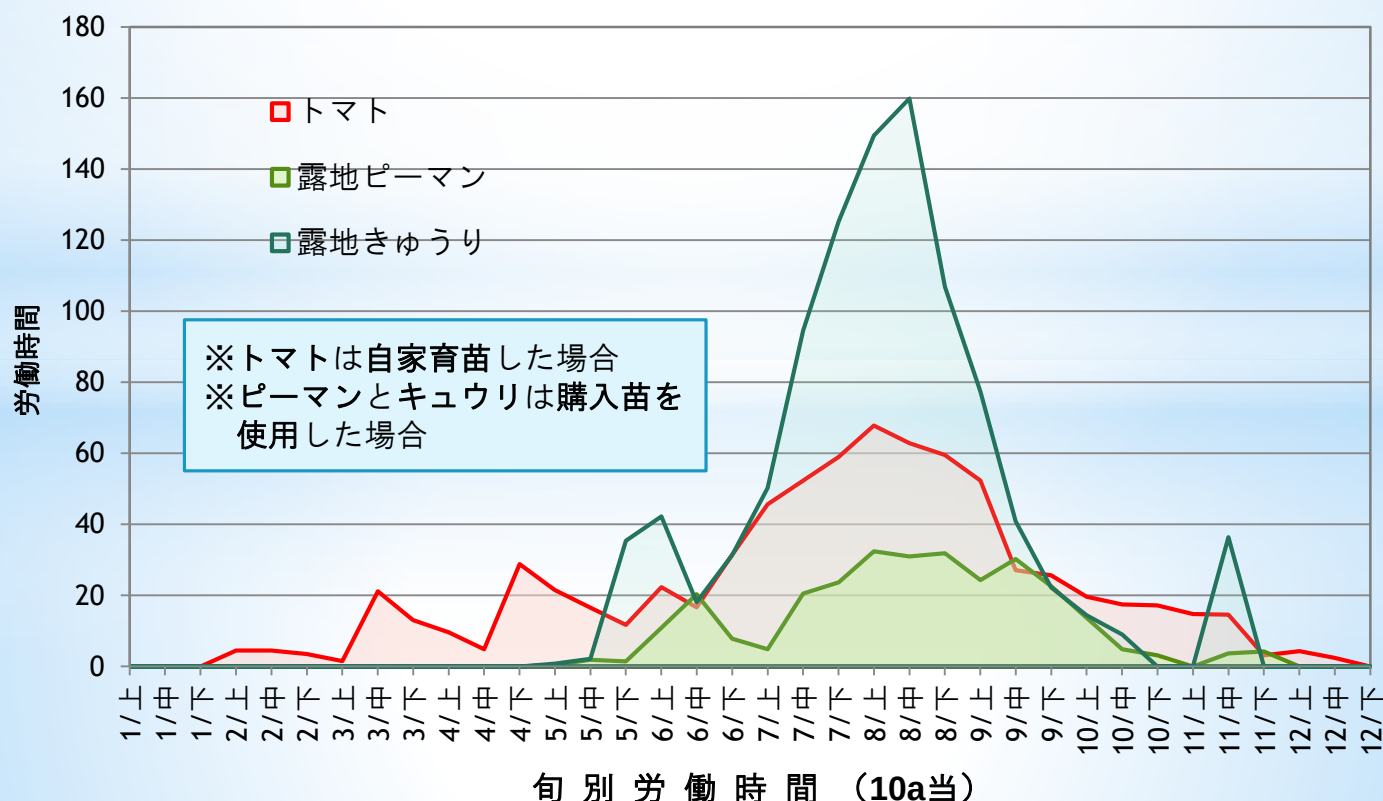
☆ 地域の実情等から試算

|       |         | 備 考                          |
|-------|---------|------------------------------|
| 粗収益   | 約190万円  | 収量：9,000kg/10a 単価：216円/kg ※1 |
| 経費 ※2 | 約100万円  | 種苗費、肥料・農薬費、資材費、流通経費等         |
| 所得    | 約 90万円  |                              |
| 作業時間  | 1,017時間 |                              |

※1 販売単価は、年や時期により変動します。

※2 施設・機械の減価償却費は除きます。購入苗を使用した場合で試算しています。

## 労働時間の目安（トマト、露地ピーマン、露地きゅうり）



# ★ 定植から収穫までに期間を要する品目 ★

～収穫できない年があることを考慮した営農計画を立てる必要があります～



## りんご栽培のポイント



### りんご栽培について

永年性作物ですが、りんごわい化樹の寿命は30年程度といわれています。  
植栽20年以上経過すると収量が落ちてくるので、将来を見据えた計画的な改植が必要です。

★おすすめする経営規模 労働力が2人の場合：50a程度

※ただし、将来的な改植等を考慮すると雇用を入れて150～200aが推奨規模です。

★定植後収穫できるまで3年程度かかります。また、目標単収になるまでには10年程度かかります。

★結実向上のため、複数の品種を植栽する必要があります。

### 始めるにあたって必要な施設・機械等の初期費用

☆ 岩手県生産技術体系2015  
から抜粋

|                                     |        |
|-------------------------------------|--------|
| 機械類（トラクタ20馬力、スピートスプレー、ロータリー、残根破碎機等） | 約850万円 |
| 軽トラック                               | 約 80万円 |
| 苗木植栽にかかる費用（自己施工の場合） ※               | 約 70万円 |

※ 果樹経営支援対策事業の  
事業費算出額より

### 所得の目安（10aあたり）

☆ 地域の実情等から試算

|       |       | 備 考                          |
|-------|-------|------------------------------|
| 粗収益   | 約88万円 | 収量：2,000kg/10a 単価：441円/kg ※1 |
| 経費 ※2 | 約45万円 | 肥料・農薬費、資材費、流通経費、整園費等         |
| 所得    | 約43万円 |                              |
| 作業時間  | 198時間 |                              |

※1 販売単価は、年や時期により変動します。 ※2 施設・機械の減価償却費は除きます。



## りんどう栽培のポイント



### りんどうの作型（りんどう：宿根草）

1年目に水田に定植 ⇒ 2年目に若干収穫 ⇒ 3年～概ね6年目まで本格的に収穫  
⇒ ほ場更新（古くなったほ場は水田に戻し、また新たな水田に植えます）

★おすすめする経営規模 労働力が2人の場合：30a程度

※切花のため、ほとんどが軽作業です。女性や高齢者だけでも栽培できます。

★出荷したい時期に応じて、品種を選んで植えます。

★栽培にあたっては各種補助事業があります（詳しくはJAにお尋ねください）。

### 始めるにあたって必要な施設・機械等の初期費用

☆ 岩手県生産技術体系2015  
から抜粋

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 機械類（刈払機、動力噴霧機等） | 約48万円 |
| 軽トラック           | 約80万円 |

### 所得の目安（10aあたり）：JA新岩手北部営農経済センター管内の場合

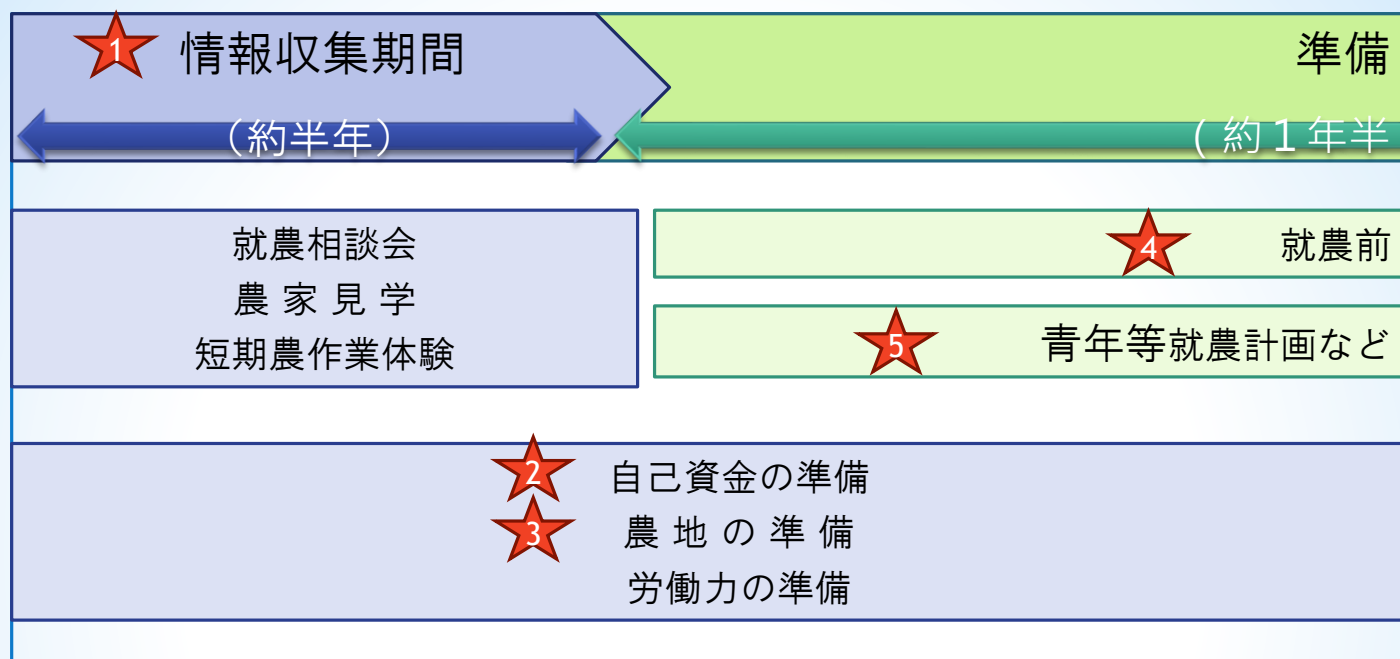
☆ 地域の実情等から試算

|       | 定植年                | 2年目   | 3年目以降 | 備 考                                           |
|-------|--------------------|-------|-------|-----------------------------------------------|
| 粗収益   | 0                  | 48万円  | 112万円 | 収量：定植年0本、2年目12,000本、3年目28,000本<br>単価：40円/本 ※1 |
| 経費 ※2 | 約73万円※3<br>補助後40万円 | 22万円  | 42万円  | 種苗費、肥料・農薬費、資材費、流通経費等<br>※3 種苗費、資材費に1/2補助あり    |
| 所得    | ▲約73万円             | 26万円  | 70万円  |                                               |
| 作業時間  |                    | 443時間 |       |                                               |

※1 販売単価は、年や時期により変動します。

※2 施設・機械の減価償却費は除きます。経費は、地域によって変動します。

# 農業を始めるまでにどのくらいの準備が必要なの？



## **1** 情報収集の流れについて教えて



二戸地域では、年1回、各市町村毎に**就農相談会を開催しています**。就農する地域が決まっている方はそちらに参加してみてください。

また、就農相談会以外の日でも、**随時就農相談に対応しています**。お気軽に相談にいらしてください。

## **2** 自己資金がなくてもよい？ 資金や融資の相談はどこにすればよい？



就農してから2～4年間は十分な所得が得られないことが想定されます。営農面および生活面を考慮して、**自己資金を準備しましょう**。

また、資金や融資の相談は、JA等の金融機関が窓口です。新規就農者は無利子の青年等就農資金（条件があります）を利用できます。

## **3** 農地を持っていないけれど、どうしたらよい？



農地の購入や借受などに関することは、各市町村の**農業委員会へ相談しましょう**。また、農地を借り受ける際は、岩手県農業公社（農地中間管理機構）が間に入ることで、円滑な手続きが可能です。



★二戸地方では新規就農者の営農支援を行っています。



新規就農者  
および  
就農希望者向け  
研修会

期間  
～2年)

営農開始 ※3

研修 ※1

の作成（資金計画含む）

施設・機械の整備 ※2



関係機関による  
新規就農者の巡回支援

就農5年後の農業所得  
250万円を目標として  
計画を立てる必要が  
あります。

★4 農業を始める前に長期研修を受けるべき？農業をやりながらではダメ？



農業で生計を立てていくためには、高度な技術力・経営力が必要となります。就農後は日々の作業に追われ、自分ひとりで技術を身につけていくことは困難です。安定した経営を早期に確立するために就農前研修を受けることをお勧めします。

九戸村と一戸町には研修機関もありますので、研修希望の方はご相談ください。

★5 青年等就農計画とは？



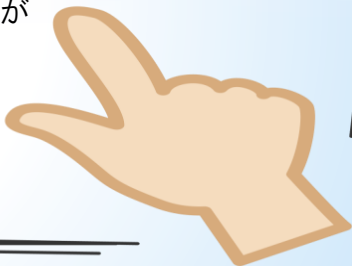
就農計画とは、就農5年後までに生計が成り立つよう立てる計画のことです。

1年ごとの目標販売額や収穫量、施設・機械の導入時期などを盛り込んだ具体的な計画を作成しましょう。

※1～3  
新規就農者（年齢等の条件あり）が利用できる有利な補助事業や制度があります。

- ※1 就農前の研修を後押しする資金を交付する制度があります。
- ※2 機械・施設の購入費用の負担軽減（半額補助など）が可能な補助事業があります。無利子で資金を借りることができる制度もあります。
- ※3 就農直後の経営確立を支援する資金を交付する制度があります。

◎ 最大限活用するためには、関係機関・団体に早めに相談しましょう。  
（詳細はP10に記載しています。）



# 自分の熱意が本物なのか？ 農業を始めるために押さえておきたいこと

## Q 1 どうして農業を始めるのですか？

### A 単なる思いつきはNG！

農業を始めるきっかけや動機は、人それぞれ。様々な思いを持って農業を始める方がいます。しかし、「無農薬の野菜が食べたい」「会社勤めより楽に見える」「田舎で暮らしたい」といった、単なる思いつきや現実逃避のような就農は、家族や周囲の農家にも迷惑をかける場合があります。

### ちょっとひとこと

農業は自然相手の仕事のため、思いがけない事態も数多く発生します。栽培技術はもちろん、消費の動向も把握する必要があります。農業で生計を立てるのは、会社を経営することと変わりないのです。



自然災害（例：台風）



自然災害（例：干ばつ）



消費動向把握不足

## Q 2 農業者に求められることを知っていますか？

### A 農業者は、技術者であり経営者！

農業者は、入社翌日から社員として認められて、給料がもらえるサラリーマンとは違い、すぐに誰でもなれるわけではありません。まず、専門的な技術と経営管理能力を身につけることを目指しましょう。

### ちょっとひとこと

農業経営には専門的な技術と経営管理能力を身につけることが求められています。また、生産の3要素として、土地（農地等）、労働力（家族労働が中心）、資金は不可欠です。



土地



労働力



資金



**A 安定した収入を得るまで、時間がかかります！**

農業を始めても、最初の収入を得るまで、そして安定した収入を得るまでには、長い時間が必要です。軌道に乗るまで、気長に取り組む根気が必要になります。

**ちょっとひとこと**

全国新規就農相談センター実施のアンケート調査によると、新規就農者は、自分の経営や生活に対して、しばらくの間は「所得が少ない」「技術が未熟だ」「働き手が足りない」「販売が思うようにならない」「休暇がとれない」「集落の慣習や人間関係がわずらわしい」などの悩みが続くようです。こういった悩みをクリアできるように、関係機関に相談し、十分にプランを練って取り組みましょう。

**A 家族の理解と合意、協力が欠かせません！**

農業を職業にするということは、単に職業を変えるということだけではなく、仕事と生活の全てが大きく変わることになります。農業を始めにあたっては、家族の理解と合意、そして協力が不可欠です。

**ちょっとひとこと**

農村は、都会とは違い、交通機関や商店街、文化施設などの利用面で、不便なことも多いでしょう。また、作業の手助けを家族に頼む場面も往々にしてあります。そうした条件について、家族が納得できるのか、十分に考えてみましょう。

**A 農村は密接な近所づきあいが必要です！**

農村での生活は、地域に溶け込むことが大切です。農村は、生産と生活の場が一緒なので、地域の人と密接なつきあいが必要です。

**ちょっとひとこと**

地域の慣習に違和感や戸惑いを感じることもあるかもしれませんが、営農に関わる共同作業のほか、集落の一員として地域の様々な行事に積極的に協力する姿勢が必要になります。地域の人たちと密接につきあっていけるかどうか、よく考えてみましょう。

また、二戸地域では4Hクラブ（農業青年クラブ）の活動も活発です。活動に参加することで、人脈を築くことができ、様々な情報を得ることができます。

4Hクラブ：若い農業者が中心となり、農業経営をしていくうえでの身近な課題の解決方法の検討や、より良い技術を検討するためのプロジェクト活動、消費者や他クラブとの交流、地域ボランティア活動等を行っているグループです。

# 就農前チェックシート

## 基本的なことをチェック！

### 1 就農に対する適性

- ① オフィスの事務作業よりも、野外で体を動かすことが好き。
- ② 忍耐力には、かなりの自信がある。
- ③ 人づきあいは好きな方だ。
- ④ 自動車免許（普通免許以上）を所有している（ペーパードライバーでない）。

チェック

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐

### 2 新規就農についての意欲、動機、知識

- ⑤ 農業で生計を立てることが目標。
- ⑥ 新規就農に関する情報収集を心がけている。
- ⑦ 新規に就農した方の体験談を直接聞いたことがある。
- ⑧ 農業体験や研修を通じて、農作業の楽しさや厳しさを体で分かっている。
- ⑨ 家族と一緒に生活や仕事がしたい。
- ⑩ 「農業は、自然災害等の影響が収入に大きく影響する」ことを知っている。
- ⑪ 「農業は会社経営と同じ。経営者として収益を上げるための心がまえや十分な経営計画が必要」と知っている。

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐

## 目指す農業のイメージをチェック！

### 1 営農計画作成

- ① どんな作物を栽培したいか、考えている。
- ② 栽培したい作物の経営規模に必要な労力を知っている。
- ③ 就農までに準備することや、段取りを大筋で理解している。
- ④ 家族が就農に同意している。

チェック

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐

### 2 新規先の選択

- ⑤ 就農先には、気軽に相談できる世話役的な人がいる。
- ⑥ 就農先には、何度か足を運んでいる。
- ⑦ 就農先の選定で、決定前、現地に家族を同行した。
- ⑧ 住宅を確保するめどがたっている。

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐

## 就農について、具体的にチェック！

### 1 就農前の技術の習得、農業経営の展望

- ① 就農前に、目指す農業（作目）の栽培技術や知識を身につけるため、農家・農業法人で長期研修を受けた。
- ② 複式簿記などの知識がある。

チェック

- ☐
- ☐

### 2 営農計画について

- ③ 農地の購入または借入のめどが立っている。
- ④ 農地を購入・借入するには、農地法等の法律に基づいた手続きが必要なことを知っている。
- ⑤ 農業機械・施設の取得（購入・借入）計画を立てている。
- ⑥ 就農後の生産・販売計画を立てている。

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐

### 3 営農資金の確保

- ⑦ 設備投資や営農1年目に係る資材・材料費の資金確保の見込みが立っている。
- ⑧ 融資制度の利用条件について知っている。

- ☐
- ☐

### 4 就農後の生活について

- ⑨ 農業で安定した収入が得られるようになるまで（概ね3～4年程度）の生活資金を用意している。
- ⑩ 就農すると「市町村税、国民年金保険料は前年度の所得に対して課税される」ことを知っている。
- ⑪ 住宅の選定については、子どもの学校や幼稚園の通学・通園も考慮している。
- ⑫ 農村生活は「地域の方々とのコミュニケーションが大切」なことを知っている。

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐



チェックが付かなかった項目は、時間をかけて一つずつクリアしていきましょう。  
また、二戸地域では就農相談会も開催されていますので、そこで市町村やＪＡ、県機関に分からないことなどを相談してみましょう。

## 各種制度の概要 ～農業を始める方への支援制度～

| 事業名                    |                      | 内 容                                                                                               | 問い合わせ先                    |
|------------------------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 農業次世代人材投資資金<br>【準備型】   |                      | 国の事業。就農前の研修を後押しする資金（年間最大150万円、2年以内）を交付。対象となる条件は原則49歳以下で、研修後に、認定新規就農者として自営就農、もしくは雇用就農を目指す方など。      | 二戸農業改良普及センター              |
| 農業次世代人材投資資金<br>【経営開始型】 |                      | 国の事業。就農直後の経営確立を支援する資金（経営開始1～3年は年間150万円、4～5年は年間120万円）を定額交付。対象となる条件は、独立、自営就農時の年齢が49歳以下の認定新規就農者※1など。 | 各市町村                      |
| 各種補助事業                 | いわて地域農業マスタープラン実践支援事業 | 地域農業（経営再開）マスタープランに位置づけられた中心経営体で組織する団体等が対象。農業用機械・施設等の導入にかかる補助（補助率1/2以上）。                           | 各市町村、ＪＡ                   |
|                        | 市町村事業                | 就農希望者に対する研修支援、就農資金等の助成。<br>○ 詳細は各市町村にお問い合わせください。                                                  | 各市町村                      |
| 青年等就農資金                |                      | 認定新規就農者が対象。青年等就農計画に即して農業経営を開始するために必要な機械・施設の購入等に必要な資金を無利子で借りることができる。                               | ＪＡ金融課等                    |
| 担い手育成特定資産事業            |                      | 新規就農者の初期投資の負担軽減のための助成等。<br>○ 詳細は市町村及び普及センターにお問い合わせください。                                           | 二戸農業改良普及センター、各市町村、岩手県農業公社 |
| 農業担い手サポート事業            |                      | 新規就農者の営農支援のための生産費用助成等。<br>○ 詳細はお近くのJAにお問い合わせください。                                                 | ＪＡ                        |

※1 認定新規就農者

市町村において、農業経営基盤強化促進法に規定する青年等就農計画（5カ年の計画）の認定を受けた者。